

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立南稜中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 441-8134

愛知県豊橋市植田町字的場50番地

E-mail nanryou-j@toyohashi.ed.jp

Website http://www.nanryou-j.toyohashi.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 417名 女子 375名 合計 792名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

- 空き缶回収（年間随時）
- 資源回収（6月3日）持ち寄り資源回収（保護者会実施日）
- あいさつ運動（生徒会主催－「挨拶駅伝」・校区健全育成会主催）
- 南稜花の日（特色ある学校づくりの補助金で、教室に一輪挿しを定期的に飾ったり、卒業式を彩る鉢花等を添えました。）



挨拶駅伝
挨拶の輪を人から人へつなぐ思いで、生徒会執行部が呼びかけて展開した。

校区の方と挨拶
校区健全育成会主催の挨拶運動。校区の方々と有志の生徒たちで、朝の登校時に挨拶の輪を展開した。



資源回収
校区PTAと南稜中学校生徒で、6月4日（土）に実施した。古紙、段ボール、アルミ缶、牛乳パック等の資源を回収した。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

資源回収は、特別活動の時間を利用して、勤労体験学習を行う学校行事として位置づけられている。企画と運営は、PTAと教職員間で準備作成を行っている。実際の活動をとおして、子どもたちが積極的に資源を回収する中で、資源の大切さや広く環境問題にまで意識させることをねらいとしている。課題としては、1日のみの活動に終わらせるのではなく、事前事後に環境学習の知識と意識を計画的に学ばせていかなければならないと考えている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

挨拶は、その時だけの一過性の活動ではなく、日常の生活の中で必要なものである。ふだんの生活の中で、自然と挨拶ができるように、学級の中や授業の中で教師や学級のリーダーが範を示したり、呼びかけをしたりしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

健全育成会主催による挨拶運動の中で、育成会の参加役員の方から、子どもたちの活動の様子にご意見やご感想をいただきました。お褒めの言葉をいただき地域の方たちとのふれあいの場面となりました。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

特に発信はしていません。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

特に連携をしていません。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

特に交流はしていません。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)

※チェック事項 2-5 に対応

特記事項ありません。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- 本年度と同様の活動を予定しています。
- 空き缶回収（年間随時）
 - 資源回収と持ち寄り資源回収（保護者会実施日）
 - あいさつ運動
 - 南稜花の日